

開 講 学 科	基礎教育センター	前橋工科大学 シラバス			
科 目 名	保健体育	標準対象年次	選択／必修	科目コード	
		1 年次	選択	11001902/18001702	
担当教員	上條 隆	単位数	学 期	曜 日	時 限
		2 単位	通年	月曜日	5 時限
授業の教育 目的・目標	広汎な知識体系への関心を喚起し、幅広い教養と豊かな人間性の涵養を図るとともに、工学の専門教育に必要な基礎的学力、思考力ならびに表現力などを修得させる。				
学科の学習・教育 目標との関係	大学生として必要な教養と倫理観を身に付け、各教科の基本となる知識を学ぶと共に、他者との意見交換などに必要なディスカッション能力を身につけるなど、基礎的教養能力の育成に関わる科目である。				
キーワード	健康・スポーツ実践				
授業の概要	1) チーム・スポーツ及び生涯スポーツに直結するデュアルスポーツに計画的に取り組み、現在並びに生涯を通してスポーツに親しむことができる能力を高める。 2) スポーツ実践を通して、身体と心の変化を感じとることができる能力を高める。 3) 食と健康に関する知識を獲得する。				
授業の計画	第 1 回： オリエンテーション チーム・スポーツの特性及び楽しみ方と身体と心の変化に関する調査方法について 第 2 回： ネット型スポーツ（バスケットボール）の実施計画立案と運動実践 第 3 回： ネット型スポーツ（バスケットボール）の個人的技能の習熟方法の理解と運動実践 第 4 回： ネット型スポーツ（バスケットボール）の集団的技能の習熟方法の理解と運動実践 第 5 回： ネット型スポーツ（バスケットボール）のボールを持たない動きの理解と運動実践 第 6 回： ネット型スポーツ（バスケットボール）の試合の運営方法の理解と運動実践 1 第 7 回： ネット型スポーツ（バスケットボール）の試合の運営方法の理解と運動実践 2 第 8 回： 食と健康に関する講義（1）バランスの取れた食事の重要性について 第 9 回： ゴール型スポーツ（フットサル）の実施計画立案と運動実践 第 10 回： ゴール型スポーツ（フットサル）の個人的技能の習熟方法の理解と運動実践 第 11 回： ゴール型スポーツ（フットサル）の集団的技能の習熟方法の理解と運動実践 第 12 回： ゴール型スポーツ（フットサル）のボールを持たない動きの理解と運動実践 第 13 回： ゴール型スポーツ（フットサル）の試合の運営方法の理解と運動実践 1 第 14 回： ゴール型スポーツ（フットサル）の試合の運営方法の理解と運動実践 2 第 15 回： 学習のまとめ 身体と心の変化に関する自己調査の結果からみた自己の課題について				
受講条件・ 関連科目					
授業方法					
テキスト・参考書	なし。ただし、適宜資料を配布する。厚生労働省HP				
成績評価	・試験（ 20 %） ・レポート（ 80 %） 各種スポーツの運動実践の様子、受講状況、毎授業後提出する身体と心の変化に関する簡単な調査及びそれに関するレポート並びに食に関する調査及びそれに関するレポートから評価する。				
履修上の注意	実技の際には、必ず体育に適した服装（ジャージ）に着替えること。				

開 講 学 科	基礎教育センター	前橋工科大学 シラバス			
科 目 名	保健体育（後期）	標準対象年次	選択／必修	科目コード	
		1 年次	選択	11001902/18001702	
担当教員	上條 隆	単位数	学 期	曜 日	時 限
		2 単位	通年	月曜日	5 時限
授業の教育 目的・目標	広汎な知識体系への関心を喚起し、幅広い教養と豊かな人間性の涵養を図るとともに、工学の専門教育に必要な基礎的学力、思考力ならびに表現力などを修得させる。				
学科の学習・教育 目標との関係	各教科の基本となる知識を学ぶと共に、他者との意見交換などに必要なディスカッション能力を身につけるなど、基礎的教養能力の育成に関わる科目である。				
キーワード	健康・スポーツ実践				
授業の概要	1）チーム・スポーツ及び生涯スポーツに直結するデュアルスポーツに計画的に取り組み、現在並びに生涯を通してスポーツに親しむことができる能力を高める。 2）スポーツ実践を通して、身体と心の変化を感じとることができる能力を高める。 3）食と健康に関する知識を獲得する。				
授業の計画	第 1 回：	オリエンテーション デュアルスポーツの特性と生涯スポーツについて			
	第 2 回：	デュアルスポーツ（卓球）の実施計画立案と運動実践			
	第 3 回：	デュアルスポーツ（卓球）の個人的技能の習熟方法の理解と運動実践 1			
	第 4 回：	デュアルスポーツ（卓球）の個人的技能の習熟方法の理解と運動実践 2			
	第 5 回：	デュアルスポーツ（卓球）の集団的技能の習熟方法の理解と運動実践			
	第 6 回：	デュアルスポーツ（卓球）のシングルス試合の運営方法の理解と運動実践			
	第 7 回：	デュアルスポーツ（卓球）のダブルス試合の運営方法の理解と実践			
	第 8 回：	食と健康に関する講義（2）食の調査方法の理解と実践について			
	第 9 回：	デュアルスポーツ（バドミントン）の実施計画立案と運動実践			
	第 10 回：	デュアルスポーツ（バドミントン）の個人的技能の習熟方法の理解と運動実践 1			
	第 11 回：	デュアルスポーツ（バドミントン）の個人的技能の習熟方法の理解と運動実践 2			
	第 12 回：	デュアルスポーツ（バドミントン）の集団的技能の習熟方法の理解と運動実践			
	第 13 回：	デュアルスポーツ（バドミントン）のシングルス試合の運営方法の理解と運動実践			
	第 14 回：	デュアルスポーツ（バドミントン）のダブルス試合の運営方法の理解と運動実践			
	第 15 回：	学習のまとめ 食に関する調査の結果からみた自己の課題について			
受講条件・ 関連科目					
授業方法					
テキスト・参考書	なし。ただし、適宜資料を配布する。厚生労働省HP				
成績評価	・試験（ 20 %） ・レポート（ 80 %） 各種スポーツの運動実践の様子、受講状況、毎授業後提出する身体と心の変化に関する簡単な調査及びそれに関するレポート並びに食に関する調査及びそれに関するレポートから評価する。				
履修上の注意	実技の際には、必ず体育に適した服装（ジャージ）に着替えること。				